

資料2－開催記録

第8回CUD勉強会「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットの取り組み」

・第1部

今回はデザインの実務者の方が多いこともあり、当会の勉強会初参加という方が半数以上でした。このため、竹下講師から、色覚のメカニズムと多様性、カラーユニバーサルデザインの考え方を丁寧に解説いただきました。

推奨配色セットの取り組みについては、東京大学の伊藤啓先生の発案で始まった経緯や、色を選定するについてはどんな検証作業をしてきたかなど膨大なプロセスの解説もあり、理解が深まりました。

色や色の見え方を化学的に解き明かしながらの解説が多く、CUD知識の幅が広がった感があります。ガイドブックは公開されています。

<http://www2.cudo.jp/.../.../uploads/2016/07/CUD推奨配色セットガイドブック.pdf>

<http://www.dic-graphics.co.jp/navi/color/ud.html>





・第2部

愛知県警察伊勢志摩サミット交通規制チラシの色づかいを考察。推奨配色セットの色に置き換えたチラシと比較をすると同時に、竹下講師よりデザインの基本、情報が伝わりやすいデザインのポイントなどを学びました。



伊勢志摩サミット 交通規制・車両検問に関するお願い

伊勢志摩サミットに伴い愛知県の高速度道路等や一般道で交通規制が予定されています。
サミット期間中は交通混雑が予想されますので、皆様のご協力をお願いします。
交通規制情報は県警ホームページや、Twitter、Facebookなどでも公開しておりますので、ご利用ください。
中部国際空港周辺で車両検問を行います。空港へは時間に余裕をもってお出かけください。

規制予定期間 5月25日(水)～28日(土)
検問実施期間 サミット関連行事終了まで

赤線 高速道路等で交通規制があります

一般道の交通規制エリア
●名高速都心環状線の内側
●名古屋駅周辺

★交通規制の対象路線
高速道路等/林道や土道上等車も通行可能な多岐路、近郊や農道、ロードアライメント等、検問が予定される区間のうち、警察官が検問を行う区間を示します。

検問エリア
●空港
●セントレアライン (りんくうIC内)
●りんくう町 検問

目録別規制見込み
●一般道
●高速道路
●環状線
●支線

★県警ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/police>
★ソーシャルメディア Twitter → @AP_samita / Facebook → <http://www.facebook.com/aichiprefpolicesamita/>

お問い合わせ
愛知県警察 愛知県警察本部サミット対策課 代表 ☎052-951-1611

伊勢志摩サミット 交通規制・車両検問に関するお願い

規制予定期間 2016年5月25日(水)～28日(土)
検問実施期間 2016年5月中旬～サミット関連行事終了まで

CUDOの評価	色弱タイプ	検出(検出)
一般色覚	C型(Common)	緑覚 約15%
色弱者	P型(Protanope)	緑覚 約1.5%
	D型(Dutaneranope)	緑覚 約3.5%
	T型(Tritanope)	約0.001%
	A型(Achromatic)	約0.001%

◆基本となる考え方

- 記載されている内容(情報)を直訳して正確に理解できるようにする。
- 色の違いだけでなく、形状(線や点)や配置(斜めや並)の違いや、背景(フオン)と、文字(ボデー)の形状、形状の違い、文字や記号の形など、色に頼らなくても情報が得られるように工夫する。
- 線や文字の色をつけるときは、色の区別がつかないように色の組み合わせをできるだけ広げる。(太文字、大きい文字)
- 色の名前を用いてコミュニケーションが行われる可能性がある場合は、色の名前を記載する。

◆色の選び方・組み合わせ方

- 背景の暗いりや明るい色の組み合わせを避けたい。
- 背景と文字にははっきりとした明暗の差(コントラスト)をつける。
- 白い背景の上の暗い線や文字には「青色」や「水色」を使用しない。
- 「濃い青」は「黒」や「濃い青」と見分けにくい。「赤」や「茶色」を組み合わせる場合は、濃い赤ではなく「赤黒」を使用する。「濃い青」を使用したい場合は、黒ではなく「暗い灰色」や「黒」を使用する。
- 「薄い青」は「青」や「茶色」と見分けにくい。「赤」や「茶色」と見分けやすくするためには、線を「明るい緑」や「明るい黄」にするなど工夫する。
- 「黄緑」は「黄色」と見分けにくいので、一緒に使用するときは濃淡・明暗の差をつける。
- 「明るい黄色」は、白内服の人には「白」や「クリーム色」と見分けにくいので、背景と文字の色を揃えよきは一緒に使用しない。
- 「黒」「青」「緑」の色覚の上には、赤で書かれた文字をのせる文字が非常に読みにくい。背景の色を揃えない場合は、文字色を「白」「黄色」「クリーム色」などにする。

◆色以外の工夫

- 色の色分けに加え、色以外にパターン(模様)等を使用する。
- 色の色分けの時は、細い線や白黒の輪郭線を入れて、色同士を見分けやすくする。
- 図やグラフなどの線を色で区別する場合は、線幅、線種など情報を変えたり、太さを揃えたりする。

※掲載資料は、NPO法人カウ・ユニバーサルデザイン機構のホームページから抜粋

愛知県警察伊勢志摩サミット交通規制のチラシは各世帯に配布されたものです。当会より、愛知県警察には、高速道路を表す緑色の上に交通規制の対象路線を示す赤色は色弱者には見分けづらいことを連絡し、色覚の多様性に配慮した色づかいーカラーユニバーサルデザインに対応していただきたい旨提言しました。また、CUDOの存在を伝えました。

これにより、愛知県警察の担当者は、CUDOのホームページからCUDガイドブックの内容を参考にしたCUD資料を関連部署へ配布するなど、CUDへの対応を始めていただけました。